

## 鹿島リゾートチェルトの森 ツキノワグマ出没説明会 次第

1. 日時 10月20日(月) 16:30~17:30(予定)

2. 場所 鹿島南蓼科ゴルフコース クラブハウスレストラン

### 3. 出席者

- |                            |         |                |          |
|----------------------------|---------|----------------|----------|
| ●長野県諏訪地域振興局林務課林務係          | 鳥獣対策専門員 | 伊藤武            | 様        |
| ●茅野市産業経済部農林課鳥獣被害対策室鳥獣被害対策係 | 係長      | 岩下弘樹           | 様        |
|                            | 同上      | 主査             | 小泉幸彦 様   |
| ●鹿島リゾート株式会社                | 代表取締役社長 | 福田浩二           |          |
|                            | 同上      | 常務取締役別荘地管理事務所長 | 大貫博司     |
|                            | 同上      | 取締役総務部長        | 和田敬司(進行) |

### 4. スケジュール ※敬称略

16:30~16:35 会の趣旨説明、出席者紹介

鹿島リゾート 和田敬司

16:35~16:45 敷地内出没状況と対応などについて

鹿島リゾート 大貫博司

16:45~17:00 近隣での出没状況やツキノワグマの生態などについて

長野県 伊藤武 様

茅野市 小泉幸彦様

17:00~17:30 質疑応答

### 5. その他

- ・本会の内容は、録音及び録画させていただきます。
- ・後日当社ホームページオーナーサイトにて本会の内容を書面で公開いたします。
- ・録画は後日希望者のみ、別荘地管理事務所にて視聴いただけます。

以 上

## 1 ツキノワグマ目撃情報（位置図を参照）

No.	日時	場所	情報内容
①	7月26日（土） 18:07	チェルトの森入口部 鹿島リゾート本社付近	市内からの来場者が場内から市街地方面へ車で走行中、道路を横断した黒い獣1頭を目撃（鳴岩川方面へ移動） その情報に基づき付近に設置されているチェルトの森の防犯カメラで熊らしき動物の映像を確認
②	9月22日（月） 9:15	柳川地区中央部 幹線道路	外注管理職員が流れ清水方面から柳川地区へ車で進入走行中、T字路を左折した地点で前方の幹線道路を黒い獣1頭が横断しているのを目撃（南から北方向へ横断） 但し、横断地点までかなりの距離があったため、誤認の可能性有（位置図の青矢印地点より目撃）
③	9月23日（火） 15:20	流れ清水地区下部 幹線道路	流れ清水地区の北側幹線道路（登り）を車で走行時、幹線道路を黒い獣3頭が横断するのを比較的間近で目撃（流れ清水から鳴岩方面へ移動）
④	10月19日（日） 16:00	柳川上部別荘区画内	工事業者が別荘区画内にて敷地内を通り過ぎる熊らしき動物1頭を目撃（流れ清水方面へ移動）

・他に牡鹿による樹皮剥ぎ取り木を熊によるものと誤認した箇所あり

## 2 当社の対応

### 1) 速やかな情報周知

上記の目撃情報確認後、速やかに情報を発信

- ・チェルトの森情報メールにて熊出没情報と注意事項を発信（登録者宛に6回）
- ・熊目撃地点にのぼり旗と看板を設置（県、市からの貸与品）
- ・場内ゴミステーションに出没情報と注意事項を掲示
- ・オーナー様へ、情報メール登録の推奨と熊を目撃した場合の情報提供をお願い
- ・別荘建物所有者全員にハガキにより情報伝達（①のみ）
- ・当社ホームページ、ゴルフ場クラブハウス、本社事務所に、熊出没情報・注意事項を掲示
- ・管理事務所内に熊出没情報MAPなどを掲示
- ・ツキノワグマ出没報告会を開催（本日）

※オーナー様向け情報メール配信サービスの登録は

当社HPオーナーサイトから可能です      登録はこちらから⇒



### 2) 巡回・監視

- ・ゴミステーションの巡回徹底（生ごみ等による獣の誘引防止）
- ・目撃地点付近にトレイルカメラを設置して監視（夕方～早朝の時間帯）
- ・人員を増やして朝夕を中心とした巡回・監視を強化（目撃地点を重点的に）

### 3) その他

- ・関係官庁（茅野市、警察署）と情報共有を実施
- ・茅野市農林課鳥獣被害対策室により目撃地点周辺の熊の痕跡確認調査を実施
- ・熊鈴、熊撃退スプレーを調達し、管理事務所窓口で販売実施

## 3 注意事項

- 外出時には熊鈴やラジオ等の音の出る物を携帯してください
- 建物の外に生ゴミや食べ物の残り等を置かないでください
- 生ゴミなどが入った袋をゴミステーション外部に放置しないでください
- 特に目撃の多い朝・夕の時間帯は散歩・徒歩での外出を出来るだけ控えるようお願いいたします

※本資料は10月20日説明会配布資料に「④10月19日」の情報を追加記載したものです

# 「蓼科高原チェルトの森」全体区画図

## 場内での熊目撃情報位置図



※本資料は10月20日説明会配布資料に「④10月19日」の情報を追加記載したものです

## 茅野市内における目撃情報 等

- ・令和7年7月26日(目撃) 泉野地区 チェルトの森別荘地入口付近で目撃
- ・令和7年8月7日(錯誤捕獲) 金沢地区 林内で錯誤捕獲
- ・令和7年8月9日(目撃) 豊平地区 三井の森別荘地角名川堰堤付近にて目撃
- ・令和7年8月12日(痕跡) 玉川地区 農地にツキノワグマのものと思われる足跡、作物被害
- ・令和7年8月13日(目撃) 玉川地区 道路上で子グマと思われる動物の目撃
- ・令和7年8月31日(目撃) 豊平地区 三井の森別荘地 りんどうヶ丘付近で目撃
- ・令和7年9月7日(目撃) 米沢地区 県道諏訪茅野線にて目撃
- ・令和7年9月23日(目撃) 泉野地区 チェルトの森別荘地内で親子と思われるクマ3頭の目撃

市内の熊目撃情報等を「くま出没マップ」として公開しています。  
クマ出没マップについては、茅野市公式ホームページ(QRコード)をご確認ください。



# 秋のクマに注意！



## ○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を昼も夜も探して食べ続けます。ドングリ等が不作の年は、エサを求めて人里に出没し、カキやクリを食べることもあります。

## ○ 11月中旬頃から、ツキノワグマは冬眠期に入ります

冬の間は食べ物がないため、クマは11月中旬頃から概ね12月末までに、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。

## ○ ツキノワグマは冬眠中に出産し、3月下旬頃に目覚めて活動を始めます

冬眠前にドングリ等を十分に食べ、栄養が確保できたメスは、冬眠中に1～2頭の子熊を出産します。3月下旬頃、飲まず食わずで冬眠から目覚めたクマは、食べ物を探して山中を動き回ります。出産したクマは子連れとなり、神経質になっています。

クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください。

### ◇ クマ避け鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避けてくれます。クマ避け鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら行動しましょう。

### ◇ 朝夕の行動は避け、複数人で行動する

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。また1人ではなく、複数人で行動しましょう。

### ◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがありますので注意が必要です。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコに夢中になりすぎないように注意しましょう。

### ◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などに密閉したり、残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出没を繰り返すようになります。

### ◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、放置してしまうとクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、ヤブは刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサです。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。



# クマと共存するためには～対策と取り組み～

人身事故は、クマの生息地で発生するものと人間の生活域で発生するものがあります。それぞれの状況に合った対策や取り組みを行うことが重要です。

出会わないことが  
もっとも重要!



## クマの生息地で事故に遭わないために

### ●クマと出会わないために

- 自分の存在を知らせる
  - ▶ クマ鈴やラジオなど、音の出るものを携帯しましょう
  - ▶ 見通しの悪い場所や、沢沿いなどの音が聞き取りにくいところでは、声を出したり手をたたいたりして存在を知らせましょう
- クマの生態や行動についてよく知る
  - ▶ 各季節のクマの食べ物や生態を知ること、遭遇を避けられる
- 目撃・出没情報のあったところには近づかない
  - ▶ 自治体のHP やビジターセンターのHP など公開  
(例：日光湯元ビジターセンター  
[http://www.nikkoyumoto-vc.com/nature/kuma\\_d.html](http://www.nikkoyumoto-vc.com/nature/kuma_d.html))
- クマの新しい痕跡(糞、食痕、爪痕など)があった際は十分気を付ける
- 春と秋は事故も多くなる傾向にあるので特に注意



クマ鈴



クマの爪痕

### ●クマに出会ってしまったら…まずは落ち着きましょう!

(下記は一例です。詳しくは <http://www.shiretoko.or.jp/library/bear/>)

- 距離が離れていた場合(クマがこちらに気付いていない)
  - ▶ ゆっくりと静かに立ち去る
- 比較的距離が近い場合(50m程度)
  - ▶ 両腕をふりこちらの存在をクマに知らせ、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- 距離が近い場合(20m程度)
  - ▶ クマがパニックになり突発的な攻撃をする可能性があるため、刺激しないことが大切。走ったり大声を出したりせず、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- クマが突進してきたら(威嚇突進)
  - ▶ 威嚇突進の場合は、途中で止まり後退することが多い。落ち着いて、クマとの間に障害物がくるようにゆっくりと後退する。
- クマが突進してきたら(本当の攻撃)
  - ▶ クマスプレーを目や鼻をめがけて噴射する。  
クマスプレーがない場合は、防御姿勢をとる。

子グマに注意!  
近くに必ず母グマがいます。  
母グマは子グマを守るために  
特に攻撃的になりやすいです。



クマスプレーの発射準備!

# 出没を察知するための ツキノワグマ痕跡識別ガイド

豊田市の森にも少なからずツキノワグマが暮らしています。クマの痕跡をいち早く見つけることで周囲に危険を知らせ、出没によるトラブルや農業被害を防止する対策につなげられます。この資料では、クマの痕跡の特徴や見分け方を解説します。



## クマの食べもの

クマたちは雪が降るころになると地面や大木の穴に入り、春が来るまで冬眠します。冬は何も食べずに過ごすため、春から秋にたくさん食べて栄養を蓄えなければなりません。クマは果実や山菜のような栄養価が高く、一度に多くの量を食べられるものを好みます。このため、春にはイタドリなど大きな草や笹などに食べ痕が残るほか、夏から秋にはたくさんの木の実をつける樹木の下に折れた枝や糞などが見られます。



冬ごもり

- 何も食べず  
メスは出産、授乳

冬



春

- 新緑の若芽や花など

痕跡

大きな草(山菜など)やササの新芽が多く生えているところで食べ痕が見られます。

夏

- 果実やハチ、アリなど



痕跡

特にカキ、クリ、ドングリの木に枝折れやクマ棚、爪痕、糞などが見られます。



痕跡

果実をつける樹木などに枝折れやクマ棚、爪痕などが見られます。

## さまざまなクマの痕跡

糞

太くて大きく  
食べたものにより色や形は様々



ドングリ類が多い落葉広葉樹林や果樹園などで見られる

足跡

前足は幅広、後足は縦長



水田や畑、泥地などに残りやすい

爪痕

木に爪を立てて  
登り降りするときに見える痕

\*写真は木からずり落ちる時にできた長い爪痕



ドングリ類や果樹によく見られる

クマ剥ぎ

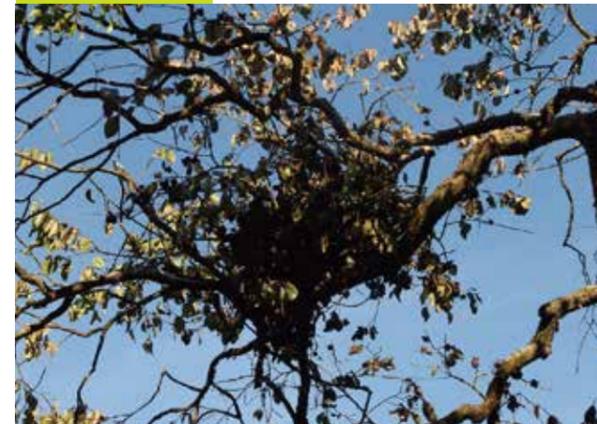
樹皮を剥いて  
内側の柔らかいところを食べた痕



スギ、ヒノキなどで見られる

クマ棚

クマが果実などを食べる時に  
枝を折って作る腰掛



ドングリ類(クリ、コナラなど)、カキ、サクラ類などでよく見られる

折られた果樹の枝

食べる時にクマが折った枝が  
地上に散乱したもの



ツキノワグマを目撃したり、痕跡を見つけた場合は、旭支所、足助警察にご連絡ください。

問合せ先・連絡先: 豊田市役所 旭支所 電話 68-2211

令和4年2月発行

作成: 豊田市役所 旭支所

作成協力: 株式会社地域環境計画 (イラスト: すずきみほ)

\* 過疎地域持続発展支援事業ツキノワグマ対策として作成

〔見分け方〕  
糞・足跡

クマ

クマは植物を主食としていますが、植物の繊維や種子を十分消化できません。カキなど果肉が多い果実を食べた時は果肉をそのままペーストにしたような糞になります。糞は臭いがせず食べたものの香りがします。

草類を食べた植物繊維が豊富な糞



葉や茎などの植物繊維を多く含んでいます。糞がやわらかく、形がくずれています。

夏の山野の果実を食べた糞



イチゴ類などの小さな果実を食べたものです。種子がたくさん含まれ、写真のように形がくずれない糞もあります。

ドングリ類を食べた糞



ドングリやクリを食べた糞はペースト状です。まれにドングリの破片も含まれます。

サクラ類を食べた糞



多くの果皮と種子がそのまま残っています。

カキを食べた糞



その他の哺乳類

山中で暮らす哺乳類の中には、クマに似た痕跡を残すものがあります

糞

- そら豆サイズの粒が集まった塊

イノシシ



イノシシの糞は、そら豆サイズの粒がぎゅっと集まり、つぶれて塊になっています。

ニホンジカ

- 小豆～大豆サイズの粒が独立



ニホンジカの糞は小さく、幼獣は小豆サイズ、成獣は大きくても大豆サイズほどです。また、粒が独立しているものがほとんどです。

タヌキ

- 太さ約1.5～2cmの新旧の糞が積み重なる



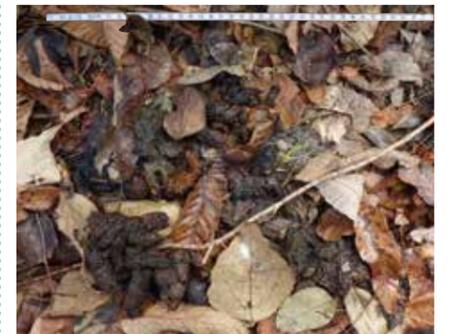
タヌキの糞は直径(太さ)が1.5～2cmほどと細めで、古いものから新しいものまで糞が積み上げられています(溜め糞)。新しいものは強い異臭がします。



\*ときには糞の粒が独立して散らばることがあります。



\*春や梅雨の時期など、みずみずしく水分を多く含んだ草類を食べた時は、粒が押し固められた塊になります。



\*季節によって食べるものが変わるため、色々な種子や昆虫の破片などが含まれます。

足跡

- 前足は幅広、後足は縦長

クマの足跡は、大人の人足と同じくらい大きさです。前足は丸く、後足は長く残ります。また、クマは肉球が大きく肉厚さを感じる足跡で、アーモンドサイズ(以上)の短い5本指の跡が特徴です。



アライグマ

- 人の手に似た形で5本の長い指

(cm)  
0  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7



指の太さは1cm未満で、親指が分かる形をしています。



- 4本の短い指で左右対称

イヌ



左右対称の整った形で、前足と後足は似ています。

〔見分け方〕  
木々に残す痕跡①

クマ

クマ  
爪痕

- 爪痕が5本並ぶ
- 木の幹に深い爪痕が残る

クマは木に登り、春には若葉や花を、夏から秋にかけては木の実を食べます。体重が重く、5本指の太く上がった爪を幹に立てて登るため、樹皮には深い爪痕が残ります。また、掌を滑らせながら幹を降りることで長く伸びた爪痕が残ることがあります。

(cm)  
0  
2  
4  
6  
8  
10  
12  
14  
16  
18



爪痕(指)が5本並ぶ、爪幅(指)は2~3cmほど



幹に残された5本爪の痕。爪を深く立てた傷は幅5mmほどになります。

掌を滑らせて幹を降りたときの長い爪痕



木から降りるときに幹に残された長い爪痕。傷が深いと何年たっても消えません。

カキの木についた古い爪痕。数年が過ぎ、爪痕が朽ちています。

その他の哺乳類

その世  
角研ぎ痕

ニホンジカ

クマの爪痕に似た痕跡を残すものがあります

- シカの目線高(120cm)よりも低いところで見られる
- 長さや傷の深さは様々

シカのオスは角の成長が止まり固くなる秋ごろに、角を木の幹にこすりつけて角の皮を剥がして磨く「角研ぎ」を行います。角研ぎはシカの目線の高さ(120cmほど)よりも低いところで見られます。時に角は深く刺さり、1cm以上の深い傷となります。

角研ぎ痕は平行にならず、長さや傷の深さは様々



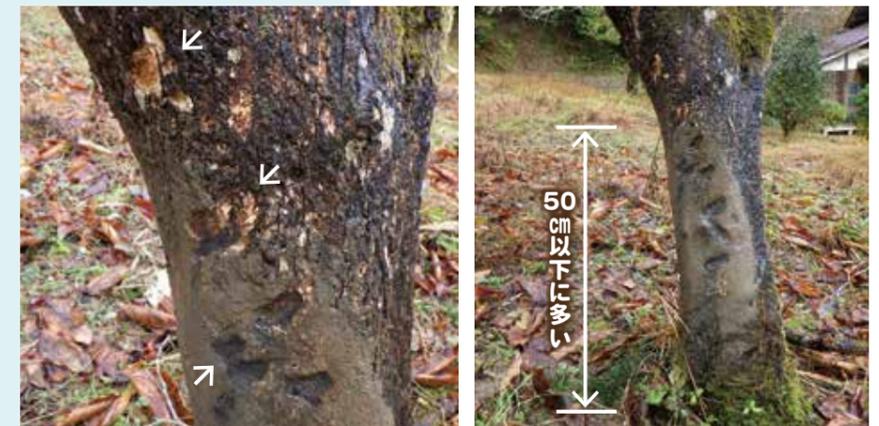
ニホンジカのオスには角が生えています。角は毎年春に落ちて生え変わります。角研ぎはオスたちにとって慣例行事のようなものです。

シカは様々な方向に頭を向けて角を幹に当てるため、角研ぎの傷は平行にならず不規則で、短いものから長いものまで、その長さや傷の深さは様々です。

その世  
牙研ぎ痕

- 傷の形は楕円や台形で、幅2cmほど
- 地上から高さ50cm以下に多く見られる

イノシシも牙を研ぐため幹に大きな傷をつけます。傷は幅2cmほどあり、楕円や台形をしています。牙研ぎの多くは泥付け(身体擦り)と合わせて行われています。



アライグマ

その世  
爪痕

- 小さな5本指
- ひっかき傷のような痕

アライグマはクマと同じく5本指ですが、その掌は小さく幹に残る爪痕の幅は通常1cm前後、最大1.5cmほどです。果実がなると、お決まりの木によく訪れることから幹にたくさんのひっかき傷が付いていることがあります。



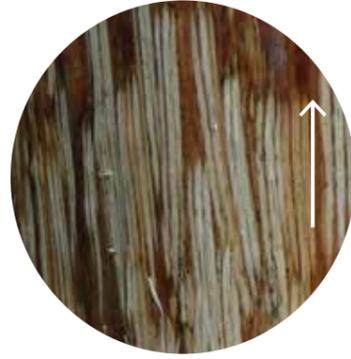
〔見分け方〕  
木々に残す痕跡②

クマ

クマ  
剥ぎ

- 初夏によく食べる
- スギ・ヒノキでよく見られる
- 3~4本の組になった  
ほぼまっすぐな縦筋の痕

クマ剥ぎは、クマが樹皮を剥がし、内側の柔らかい部分を食べた痕です。木が水をよく通す初夏に、スギやヒノキなどの針葉樹で見られます。前歯3~4本が組になった歯形が特徴で、歯形の長さは10cmほどです。



長さ10cmほどの縦筋の痕

前歯で削るように食べるので、3~4本組になった歯形が縦方向にほぼまっすぐ並びます。

根本から上に向かって樹皮を引き剥がします。長いものは高さ4mに達し、歯形が残ります。



クマ  
クマ棚

- 夏から秋に見られる
- 枝が重なり、冬になっても葉が残る

クマが折った枝は冬になっても落葉せずに葉が残るため、注意して木々を見れば簡単に発見できます。

クマ棚がよく作られる木はミズナラ、コナラ、クリ、ミズキ、サクラ類など夏から秋に果実がたくさん実る木です。いずれの木も豊田市で普通に見られます。

クマ棚とは？

クマが樹上に登って果実を食べるときに、枝をたぐり寄せて折り、それをお尻の下に重ねて作った腰掛のことです。



枝を折り、たぐり寄せて実を食べるので、木の下に枝が落ちていることがあります。

その他の哺乳類

クマと同じく木の皮を剥いで食べます

その世  
樹皮剥ぎ

ニホンジカ

- 初夏と冬に食べる
- スギ・ヒノキでよく見られるがカエデ類やツバキなども食べる
- 歯形は短くカーブし不規則に並び

クマだけでなくシカも初夏と冬に樹皮を剥いで食べます。多くはスギやヒノキで見られますが、カエデ類やヤブツバキなどの広葉樹も食べます。クマ剥ぎと似るため、歯形や爪痕の有無を見て判断します。

シカによる樹皮剥ぎは樹皮に残される歯形のほとんどがカーブを描きます。また、歯形は独立か2本組が多く、その長さは3~5cmほどと短めです。



歯形は短く、カーブし不規則に並びます。

クマの歯形のように3~4本組にはならず、不規則な歯形が特徴です。



植物

クマ棚と似ているボール状の植物です

その世  
植物

- 丸く放射状に広がる
- 年間を通して緑色

ヤドリギ(植物)

樹木の枝に根を張ってボール状に育つ「ヤドリギ」という植物があります。クマ棚のように枝が重なった塊に見えるので注意が必要です。

ヤドリギは通年緑色で放射状に枝葉を伸ばすのでクマ棚と見分けることができます。

